

5. 木更津港への要請と課題及び今後の検討方針

5-1 各地区の整備状況及びポテンシャル

吾妻地区

- 木更津駅から約700mの距離にある
- 静穏水域が確保されている
- 吾妻地区北側は漁業基地となっている
- 木更津市（海岸5ヶ所）に訪れる潮干狩り客は年間約30万人である
- 中の島公園は市民の憩いの場として利用されている
- 鳥居崎海浜公園と中の島公園を結ぶ「中の島大橋」があり、潮干狩り客はこの橋を渡り潮干狩りに行く
- 毎年8月に「木更津港まつり花火大会」が開催されており、約25万人の人出で賑わっている



富津地区

- 水深7.5mの岸壁が2バース整備されており、うち1バースは耐震強化岸壁である
- 総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)に指定されており、環境産業企業が立地している
- 背後には広大な工業用地が整備されており、すでに94%が売却済み（平成20年8月現在）である。



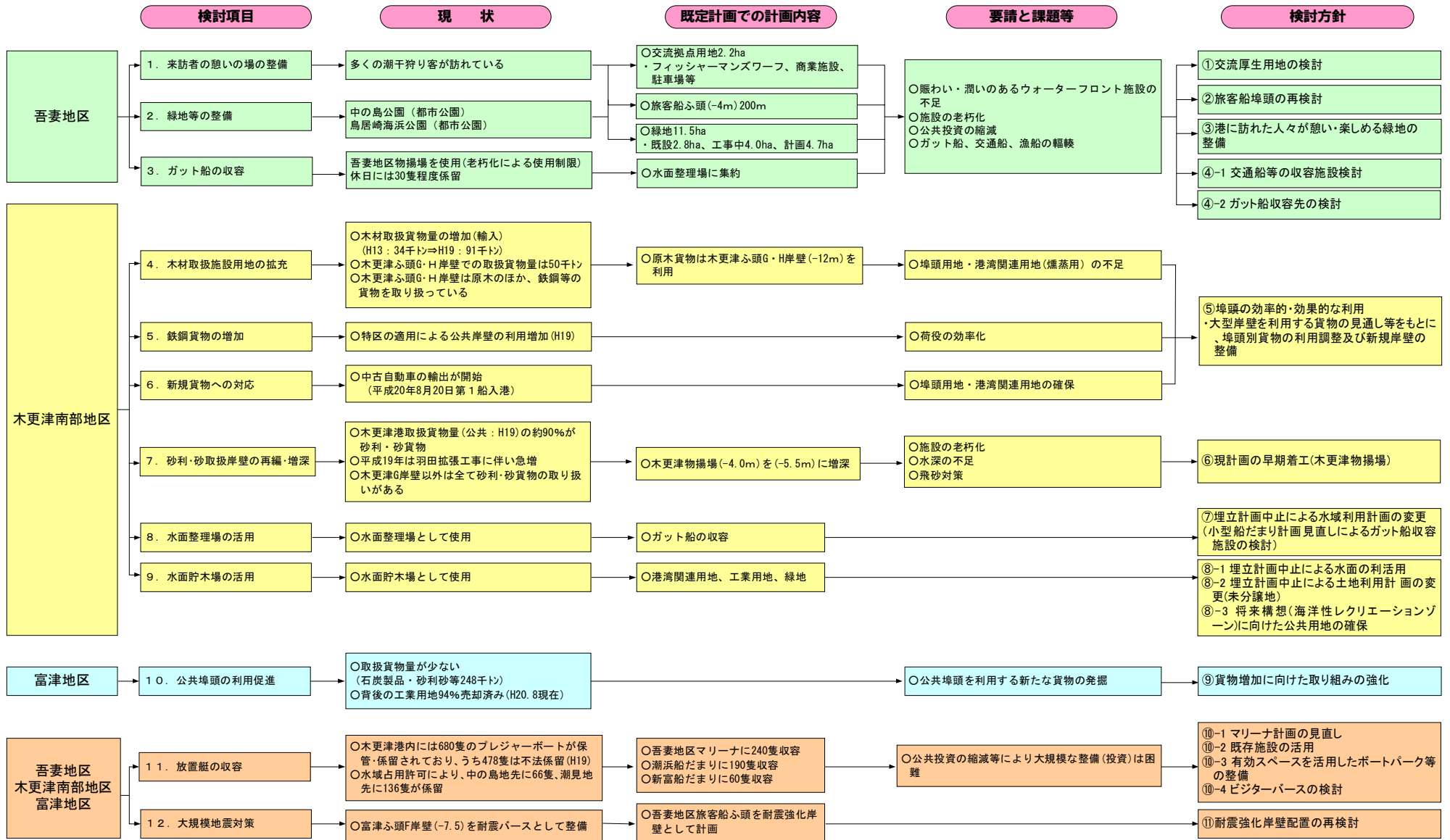
木更津南部地区

- 首都圏への砂利・砂の供給基地となっている
- 水深12mの大型バースが2バース連続で整備されている
- 物流コストの削減を図るため「木更津港湾物流効率化特区」が指定されている
- 利用転換が可能な広大な木材水面整理場及び貯木場の水面がある
- 賑わいの核となる大規模商業施設の立地が計画されている。



5-2 各地区への要請と課題及び今後の検討方針

現在の本更津港の利用状況、利用者からの要望及び今後再整備を行う上での問題点・課題を整理すると以下のとおりである。



木更津港への要請と課題を踏まえた今後の検討方針

